



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年12月5日 第60号

発行者：校長 伊藤 俊

一師走一 ～昇降口朝の立ち番指導～



師走のスタートです。12月4日（月）から毎月恒例の昇降口朝の立ち番指導が始まりました。このところ朝の冷え込みは日に日に増していますが、そんな中でも元気に挨拶すればあたたかい気分になります。是非とも自ら進んで、相手よりも先に挨拶するよう心がけてみて下さい。西高生には元気な挨拶が似合います。

自転車置き場に目をやると、みんなきれいに所定の場所に駐輪していることに気づき、心が和みます。ただ、イヤホンをしながらの自転車運転が数名いました。危険です、絶対にしないでください。交通ルール遵守が西高生の基本です。数えれば2017年平成29年もあと僅かです。一日一日、一人一人を大切に充実した師走にしましょう。

〔立ち番指導相手よりも先に挨拶〕

一大学入学共通テスト・プレテストからのメッセージ ～「主体的・対話的で深い学び」を～

12月4日（月）2020年度から大学入試センター試験に代わって行われる、大学入学共通テストのプレテスト結果が公表されました。今回のプレテストは全国の高校のおよそ40%にあたる、約1900校の2・3年生が受験したことになります。

各教科の詳細につきましては、これからの分析を待ちたいと思いますが、国語や数学を例にとると、現センター試験に比べて圧倒的に問題量が多く、情報処理能力や思考力を問われていると感じました。具体的に言うならば、国語では文中から解答部分を抜き取るのではなく、指定された字数内で自分の言葉で答えなくてはならないということ。数学は、単なる計算力を問うのではなく、都道府県の観光客の消費総額のデータから、最も消費額単価が高い都道府県を示す点を特定する方法を記述させる問題もありました。「数学は実生活でも役に立つ」といったメッセージが込められているように感じました。ただ、勘違いしてはいけないのは、だからといって数学の計算力が必要ないということではありません。基礎基本は大前提です。国語も同じです。情報処理能力だけが先行して、本来の基礎基本を大事にする読解力や思考力を疎かにしてはなりません。時間があるときには是非、問題にチャレンジしてみてください。今回は授業での学習形態も試されており、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）を授業で取り入れて欲しいというメッセージも含まれていたと思います。

今日、2時間目2年生の針生先生の体育の授業。グラウンドでサッカーでした。ひとりひとりが主役で、全員でパスを繋ぎ合うまさにアクティブラーニングだと思いました。5時間目2年生の寺下先生の国語の授業。四面楚歌の理解に手作りの紙芝居を用いていました。こちらも五感に訴えかけながらのアクティブラーニングです。西高の先生方は、時代に敏感ながらもいつの時代も変わらないものも大事に日々授業をしています。みなさん是非主体的に授業に参加してください。



〔2年生針生先生サッカーの授業〕



〔2年生寺下先生漢文の授業〕

一師走の校舎一

庁務の方々が寒い中、外の窓掃除を行っています。ピカピカです。校門から見える新しい合同庁舎は新年度から業務開始です。外装はほぼ完成したように見えます。新しい年の訪れの予感です。



〔校門から見える新石巻合同庁舎〕



〔窓の大掃除北條さん〕